

全校朝会の話 11月6日(月)

ミキハウスという子供服の会社の社長で木村皓一さんという方がいます。木村さんは会社をつくったばかりのころ、いろいろなところにセールスに出かけましたが、売れるどころか、話を聞いてもらえなかったそうです。木村さんはどうすればよいか考え、「このお店になにかお役に立つことはないですか？」と尋ねることにしたそうです。これまでは、すぐに「取引してほしい」と話していたのですが、それよりも相手のお店の役に立てないだろうかということ考えたのです。それからは、たくさんの注文をもらうことができるようになったそうです。木村さんは、最初は自分の立場で考えて、「物を買ってくれ」という気持ちでいましたが、途中から、相手の立場で考え、相手のために何が出来るかをまず考えようとしたのです。

私たちも自分のことばかりを一番に考えてしまいがちではないでしょうか。自分を大事にするのもよいことですが、学校生活では、そればかり考えていては、うまくいかないこともたくさんあります。自分のことよりも、相手のことをまず考えてみましょう。それが自分にとってもよいことになるものです。

11月は、ふれあい月間です。『自分を大切に 相手を大切に』この気持ちをもって、学校生活を送ってもらいたいと思っています。